

令和2年度 市政運営会議 議事概要

日 時	令和2年11月30日（月）15:10～15:20
議 題	政策推進プラン、行政運営プラン及び財政運営プラン素案について
出席者	高島市長、光山副市長、中村副市長、荒瀬副市長、 総務企画局長、総務企画局行政部長、総務企画局企画調整部長、 財政局長、財政局財政部長
決定事項	○政策推進プラン、行政運営プラン及び財政運営プランの素案について、別紙のとおりとする。
議事要旨	【荒瀬副市長】 ・少子高齢化への対応をはじめ、安心して子どもを生み育てられる環境づくりや、生涯現役社会の実現など、引き続き、「生活の質の向上」にしっかり取り組んでいただきたい。 【中村副市長】 ・都市活力を生み出す観光・MICEの振興や、国際競争力のある都市づくりにあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、「都市の成長」につながる取組みを着実に進めていただきたい。 【光山副市長】 ・全体のプランに共通することだが、厳しい財政状況が続くことが見込まれており、より一層の事業の選択と集中に取り組むとともに、業務の効率化などによって生じた人的資源については、人のぬくもりが必要な分野へ振り向けるなど、限られた資源を最大限に活用しながら、将来にわたって持続可能な市政運営を目指して取り組んでいただきたい。

【高島市長】

・福岡市では、総合計画策定以降、さまざまなプロジェクトに取り組み、今年の市政への信頼度は大きく向上して83%以上と、10年前の倍以上になった。また、税収に関しても7年連続で過去最高を更新している。これは、全職員が一丸となって取り組んできたことや、市民の皆さまに頑張ってもらったおかげであり、ベースとなる基本構想、基本計画、そして政策推進プラン、行政運営プラン及び財政運営プランを着実に推進することで、これだけの成果をあげ、市民の皆さまからの評価をいただけたのだと思う。そうした意味では、基本計画をベースにしながら、まちづくりを着実に進めていくという方向性は間違っていないと確信しており、新たに策定する3プランに基づき、今後もいろいろなチャレンジに取り組んでいただきたい。